感染根管

オゾンナノバブル水は
感染根管分離細菌に対し殺菌効果が高い

口腔常在菌および感染根管より分離される10菌種を
1×10^{8}CFU/mLとなるように調整後、
オゾンナノバブル水1mLに対して各菌液を1/100量加えて
1分間及び5分間作用させた後、滅菌生理食塩水で希釈し、生菌数を求めた。

			作用時間	
	菌種	菌株	1分	5分
グラム陽性菌	*Staphylococcus aureus*	ATCC12600	0.0	0.0
	Streptococcus mutans	Ingbritt	0.0	0.0
	Streptococcus gordonii	DL-1	0.0	0.0
	Lactobacillus casei	ATCC393	0.0	0.0
	Actinomyces viscosus	ATCC15987	0.0	0.0
	Enterococcus faecalis	ATCC19443	0.0	0.0
グラム陰性菌	*Escherichia coli*	HB101	0.0	0.0
	Porphyromonas gingivalis	ATCC33277	0.0	0.0
	Fusobacterium nucleatum	ATCC25586	0.0	0.0
真菌	*Candida albicans*	1002	0.0	0.0

（CFU/mL）（n=3）

オゾンナノバブル水の根幹洗浄への応用に関する基礎的研究
（神奈川歯科大学口腔治療学講座歯内療法学分野　他）より引用・改変

【結果】

いずれの菌種においても生菌数は 0 CFU/mL となり、すべての菌種に対して抗菌効果が認められた。

▶ オゾンナノバブル水は、**感染根管の洗浄効果**が期待できる。

※当資料は関係者様向けに、論文・発表内容を簡潔にまとめたものです。原著をご入用の場合は、担当者までお問合せください。

nanosui